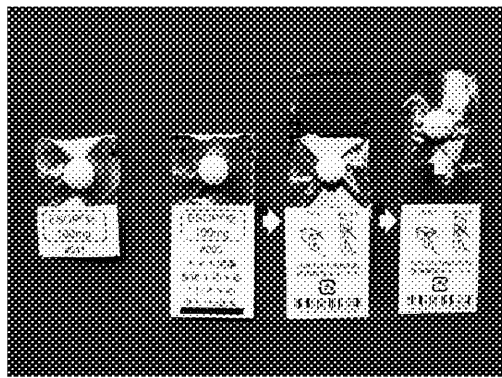


錠剤誤飲防止技術募る

モリモト医薬フィルム個包装

モリモト医薬（大阪）社長は、開発した医薬品錠剤向け包装技術



「ESOP（インソップ）」のオートプリンターによるベーションに、取り組む。同技術は錠剤向け個包装ESOPの例。情報表示したフィルム包装を開いて取り出せる

は柔らかいフィルムで錠剤を1錠ずつ包み、それぞれに薬の情報を表示できる。製薬企業

ているが、包装ごと飲み込むなどの事故が社会問題となっている。ESOPは軽いフィルム技術により高齢者でも開けやすいが、折り

畳みにより子どもは開けにくい形態。柔らかいフィルムを使うため誤飲が起きても内臓やのどを傷つけにくい。個々の包装に名称や使

用期限、用法容量、バーコードなどの情報を表示することができ、取り違えや期限切れの薬の服用などの防止にもつながる。

現在、半自動で少量の試作が可能だが、早期の商業化に向け量産や利便性向上につながる技術を持つ企業との連携を図る。

「ESOP（インソップ）」のオートプリンターによるベーションに、取り組む。同技術は錠剤向け個包装ESOPの例。情報表示したフィルム包装を開いて取り出せる

従来、錠剤の包装はプラスチックシートとアルミニウム箔で挟むPTP包装が主流。気密性が高く広く普及し